



多くの乗船客が訪れました



ホタル舟の看板も登場



鶴田保育所園児による遊戯（野外コンサート）



鶴田小学校6年生による合唱（野外コンサート）



第2回 奥薩摩のホタル舟運航

第2回奥薩摩のホタル舟（奥薩摩のホタルを守る会主催）が5月17日（土）から6月1日（日）まで運航されました。
今年は、2回目の開催ということで昨年の約1800人を上回る、約2300人が乗船し、ホタルのイルミネーションを楽しみました。

このホタル舟は、奥薩摩・水と緑の郷づくり構想の一環として実施され、龍舟祭等で利用されるドラゴンボートを利用された固定した舟を使用し、ホタルが乱舞する第二ダム下から約2km川を下りました。
また、今年は専用舟2艘を加え、合計8艘で運航しました。
乗船客は、午後7時30分にあびる館をシャトルバスで出発し、第二ダム下流の乗船口に移りました。午後8時前になるとホタルが光り始め、舟に乗る前から、ホタルの多さに驚いていました。実際に乗ると川の両岸に無数のホタルの光が見られ、約30分の運航を終えて舟から降りてくる人たちは「大変感動しました。」「あまりの数の多さに

驚きました。」とみな口をそろえて話していました。
遠くは東京からもこれ、「とても幻想的な光景で、夜空の星と川辺の星との景観が大変感動的でした。」と話していました。
また、5月20日（火）には、川内川河畔の水辺の楽校ステージで、ホタル舟運航を記念し、野外コンサートが実施されました。
コンサートでは、鶴田保育所園児による遊戯、鶴田小学校6年生による合唱、バンドグループ「LINK」の演奏が行われ、来場された約200人の観客は聞き入っていました。

自慢館特設会場

ホタルコンサートが開催

ホタルコンサートが5月24日（土）自慢館で開催されました。
これは、毎年「ドリームつるだ」の主催で開催されており、今年で9回目を迎えます。
友清真齊会長のあいさつのあと、旭保育園園児による合奏・ダンス、しび保育園園児による合奏、柏原小学校児童全員による合唱、コールひまわりによるコーラスがあり、約300人の来場者も聞き入っていました。
また、最後に抽選会も行われ、会場は大変盛り上がりしていました。

旭保育園園児による合奏



柏原小学校児童による合唱